
終末期医療

月山 淑 准教授*
栗山 俊之 講師*

3年次前期・必修

1単位・15時間

【概要・目的】

本科目は、人生の最終段階において患者に出現する身体的・心理精神的・社会的・Spiritualな問題を診断・評価し、患者・家族が納得できる終末期を過ごす援助が出来るようになることを目的とする。

【到達目標】

- 1) 終末期の患者とその家族に対するケアの必要性和特殊性を理解する。
 - 2) 終末期に出現する諸症状を理解し、正しい評価を行い、治療の計画・実施を行うための方法論を学ぶ。
 - 3) 患者・家族の QOL(Quality of life)の向上をはかる医療としての緩和ケアを理解する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 終末期医療／緩和医療の概説および歴史
 - 2) 終末期の倫理と医学的決断過程(厚生労働省人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインについて)
 - 3) 終末期における療養場所
 - 4) がん性疼痛、適正な医療用麻薬の使用方法
 - 5) 終末期患者に出現する疼痛以外の身体的症状および心理的症状
 - 6) 終末期患者の持っているTotalPain（全人的苦痛）について、終末期医療／緩和医療における患者・家族の心理とそれに対する援助
 - 7) がん看護専門看護師からチーム医療の形成と重要性を講義
 - 8) 症例提示
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況など（10%）

【教科書】

特に定めない
資料を配布します

【推薦参考図書】

特にありません
授業の中で必要があれば紹介します

【その他】 totoro@wakayama-med.ac.jp